

■横浜市と昭和村の友好・交流協定（平成25年10月6日締結）

＜協定の内容＞

- 1 両市村は、市民と村民が相互に活発な交流を進め、持続的な友好交流が行われるよう努める。
- 2 両市村は、環境・経済・農業・観光・文化・スポーツその他様々な分野において相互協力を行い、地域の活性化に努める。
- 3 両市村は、相互の理解により、お互いの繁栄と幸福がもたらされるよう努める。

■昭和村と横浜市の友好交流のあゆみ

昭和47(1972)年	旧「横浜市赤城山市民野外活動センター」を昭和村に開設
昭和48(1973)年	昭和村児童の横浜招待旅行を開始
昭和54(1979)年	「横浜市少年自然の家 赤城林間学園」に宿泊棟「山の家」を開設
昭和62(1987)年	「横浜市少年自然の家 赤城林間学園」に宿泊棟「鳥の家」を増築
昭和63(1988)年	「横浜市少年自然の家 赤城林間学園」に雨天集会場「森の家」を増築
平成元（1989）年	横浜市制100周年・横浜開港130周年記念の「横浜博覧会」に昭和村民が八木節踊り、太々神楽等で参加
平成10(1998)年	第1回「昭和の秋まつり」開催（横浜中華街が出展開始）
平成16(2004)年	新潟県中越地震の際に「赤城林間学園」に新潟県小千谷市の被災者を受入れ
平成17(2005)年	「災害時における相互応援に関する協定」を締結
平成20(2008)年	昭和村が「第77回開港記念バザー」に出展開始
平成21(2009)年	職員の人事交流を開始（以降、3年に1回実施） 昭和村が「新横浜パフォーマンス」に出展開始
平成22(2010)年	「第1回やさい王国昭和村フォトコンテスト」を横浜市教育委員会が後援、教育委員会賞を授与開始 「昭和の秋まつり」を横浜市教育委員会が後援開始
平成24(2012)年	「第3回やさい王国昭和村フォトコンテスト」を横浜市が後援、横浜市長賞・横浜市会議長賞を授与開始 昭和村が横浜市「戸塚ふれあい区民まつり」に出展開始
平成25(2013)年	「横浜市と昭和村の友好・交流に関する協定」を締結 「昭和の秋まつり」を横浜市が後援、出展開始 「やさい王国昭和村フォトコンテスト」入賞作品の横浜市内での巡回展示開始
平成26(2014)年	昭和村の雪害被害に対し、横浜市職員ボランティアによる支援 昭和村との友好交流事業補助金制度の開始、昭和村サポーター事業の開始 昭和村産こんにゃく芋の横浜公園への植付・収穫、こんにゃく作り体験教室の開始 昭和村が横浜市「子どもアドベンチャー」に参加開始
平成27(2015)年	横浜市ホームページに「こんにゃく芋成長日記」の掲載開始
平成28(2016)年	昭和村が横浜市「栄区民まつり」に出展
平成29(2017)年	昭和村内施設の「横浜市民向け優待サービス」を開始
平成31(2019)年	昭和村が横浜市「里山ガーデンフェスタ」に出展
令和 3(2021)年	新しくなった市庁舎で横浜市友好交流自治体のPR物産展を初開催
令和 4(2022)年	市庁舎プレゼンテーションスペースで横浜市友好交流自治体の写真展を初開催
令和 6(2024)年	「横浜市と昭和村の友好・交流に関する協定」締結10周年を記念し、友好・交流の発展に向けた共同宣言を発表

「横浜市大都市制度推進本部室」のX(旧Twitter)やメーリングリスト(昭和村サポーター通信)でも昭和村の情報を発信しています。

大都市X(旧Twitter)アカウントぜひご覧ください▶



昭和村サポーター通信の登録はこちらから▶



■横浜市から昭和村へのアクセス

お車でのアクセス

- ◎横浜市→環状8号線・第三京浜道路又は首都高速道路を經由→関越自動車道「練馬IC」→関越自動車道「昭和IC」→昭和村（約2時間30分から約3時間）
- ◎横浜市→東名高速道路「横浜町田IC」、圏央道、関越自動車道→関越自動車道「昭和IC」→昭和村（約2時間30分から約3時間）

電車でのアクセス

- ◎横浜市→東海道線を經由して「東京駅」→上越新幹線「上毛高原駅」→車で昭和村（約2時間15分）
- ◎横浜市→東海道線を經由して「東京駅」→上越新幹線「高崎駅」→上越線「岩本駅」→車で昭和村（約2時間45分）



群馬県昭和村と横浜市の 友好交流のあゆみ

高橋幸一郎 昭和村長からのメッセージ



横浜市と昭和村の交流は、昭和47年から始まり、50年以上が経過しました。この間、様々な交流事業が展開され、今では幅広い世代の市民・村民の交流が行われています。また、平成25年には友好・交流協定を締結し、友好関係が今なお深まり続けています。今後も様々な機会を通じ、市民の皆様に親しみを感じていただけるよう取り組みを進めて参ります。これまでの横浜市と昭和村の半世紀という歩みを礎に、未来に向け末永く交流を続けていきましょう。



【村の概要】（令和7年1月1日現在）
・昭和33(1958)年 昭和村誕生
・人口：6,938人 ・世帯：2,975世帯

山中竹春 横浜市長からのメッセージ



昭和村と横浜市は、昭和47年に、横浜市が現在の「横浜市少年自然の家 赤城林間学園」を昭和村に開設して以来、50年以上にわたり友好関係を育んできました。この間、多くの横浜の子どもたちが昭和村を訪れ美しく豊かな自然に親しむとともに、「横浜招待旅行」などを通じて昭和村からもたくさん子どもたちが横浜を訪れています。平成25年の友好交流協定、令和6年の共同宣言を経て、交流の輪は、地域団体の交流、イベントの相互出展など、あらゆる世代に広がっています。この絆をさらに深め、次世代に引き継いでいきましょう。



【市の概要】（令和7年1月1日現在）
・明治22(1889)年 市制施行
・昭和31(1956)年 政令指定都市となる
・人口：3,769,584人 ・世帯：1,819,315世帯

交流の様子

※昭和47年に横浜市の施設である旧「横浜市赤城山市民野外活動センター」(現「横浜市少年自然の家 赤城林間学園」)を開設して以来、昭和村と横浜市はいろいろな交流を行っています。

もっと昭和村を知りたい!①

横浜市内で昭和村をPR

昭和村は、横浜市内でのいろいろなイベントに出展しています。

6月の「横浜開港記念バザー」には、平成20年から出展しており、昭和村の新鮮でおいしい野菜や果物はもちろん、ジャムやリンゴジュース、味噌なども大好評でした。

10月の「新横浜パフォーマンス」、11月の「港北ふれあいまつり」、「栄区民まつり」などにも出展しており、毎年心待ちにしてくださっている横浜市民の方が多くいらっしゃいます。

令和6年6月には、友好交流協定10周年を記念して市庁舎でも物産展を開催し、大盛況で幕を閉じました。



開港記念バザーでの出展



港北ふれあいまつりでの出展

コラム 子どもアドベンチャーにも出展!

横浜市と企業・公的機関などが連携し、例年8月に開催している「子どもアドベンチャー」にも出展しています。昭和村のクイズ等のプログラムを通じて、参加した小学生だけではなく、同伴の保護者の方等にも昭和村について知っていただく機会となりました。



子どもアドベンチャーの様子

生産量日本一! 昭和村産 こんにゃく芋のPR

昭和村といえば、生産量日本一の“こんにゃく芋”。このことを横浜市民の皆さんに知ってもらえるよう、平成26年度から横浜市では、昭和村、(公財)横浜市緑の協会とともに、多くの市民や観光客が訪れる横浜公園で昭和村産のこんにゃく芋を栽培しています。

例年6月に約300個を植え付け、11月に芋ほり、12月には調理実習を行っています。

また、こんにゃく芋の不思議な特徴や成長記録を横浜市ホームページで「こんにゃく芋成長日記」として発信しています。

🔍 横浜 こんにゃく芋成長日記 検索



植え付けの様子



こんにゃく作り調理実習の様子



村職員から植え付けの説明を受ける小学校児童

横浜市内の小学校でも、子どもたちが学習の一環で昭和村産のこんにゃく芋を栽培しています。

これまでにこんにゃく芋を植え付けた横浜市内の小学校

平安小学校(鶴見区)	2015年	新鶴見小学校(鶴見区)	2019年・2020年
日枝小学校(南区)	2016年	勝田小学校(都筑区)	2021年
小机小学校(港北区)	2017年	元街小学校(中区)	2023年・2024年
さつきが丘小学校(青葉区)	2018年		

※元街小学校は横浜公園に植え付けています。

横浜のことも知ってほしい!①

昭和村児童の横浜招待旅行

横浜市が昭和村に旧「横浜市赤城山市民野外活動センター」を開設した翌年の昭和48年から、昭和村の小学6年生全員を横浜市に招待しています。

令和6年度までに延べ4,931人の児童が参加しており、昭和村で育った64歳以下の住民の皆さんは、ほぼ全員、横浜を訪れていることになります!

近年は、体験スポットとして大人気の「カップヌードルミュージアム横浜」でオリジナルカップヌードルを作ったり、横浜スタジアムで横浜DeNAベイスターズの試合を観戦したり、横浜中華街などを散策したりして、昭和村の児童の皆さんに、横浜を思いっきり楽しんでいただいています。



昭和60年頃の横浜招待旅行



山下公園で記念撮影



横浜スタジアムで野球観戦

自然を満喫!

横浜の子どもたちの自然体験

横浜の子どもたちは、学校や青少年団体等の野外・自然活動や部活、スポーツクラブ等の合宿で「赤城林間学園」を訪れています。

横浜ではなかなか体験することが少ない農作物の収穫やこんにゃく作り、キャンプファイヤーなどを通じて、豊かな心を育み、自然の大切さを学んでいます。



うどん作り



キャンプファイヤー



食事の様子

より活発な交流に向けて

昭和村と横浜市

還暦野球交流試合

昭和村と横浜市による還暦野球交流試合が、平成30年度から開催されています。昭和還暦野球クラブと横浜還暦古希軟式野球協会チームが、試合で共に汗を流しながら、お互いの絆をさらに深めています。



横浜スタジアムでの還暦野球交流試合の様子

もっと昭和村を知りたい!②

昭和村と横浜市の友好交流事業

昭和村と横浜市の住民の皆さんによる活発な交流を進め、相互協力を行い、両地域の活性化を図るため、平成26年に「昭和村との友好交流事業補助金制度」を創設しました。

この補助金を活用して令和6年度までに、横浜市の町内会や公園愛護会、青少年指導員協議会など、延べ24団体・766人の地域活動を行っている皆さんが昭和村を訪れ、村づくり協力委員や子ども会育成会連合会などの皆さんと交流・研修を行っています。



関ヶ谷市民の森愛護会(金沢区)の訪問(りんご狩り)の様子



泉区青少年指導員協議会と村青少年育成推進員との意見交換

昭和村議会と横浜市の交流も行っています。



横浜市の昭和村視察



昭和村議会と横浜市の皆さんの交流(横浜市にて)

横浜のことも知ってほしい!②

昭和の秋まつりでの出展

昭和村の皆さんに横浜のことをもっと知っていただくため、第16回昭和の秋まつり(平成25年)から横浜市や(公財)横浜市緑の協会(横浜市の動物園などを管理)などが出展しています。

緑の協会は、動物のお面作りや球根のつかみどりなどを通じて、昭和村の皆さんに、楽しみながら動物や緑化活動についての理解を深めていただいています。

また、横浜中華街は、第1回(平成10年)から出展しており、昭和村の皆さんに、本場の中華の味を楽しんでいただいています。



お面作りの様子



本場の味 横浜中華街のブース

昭和村と横浜市

職員の人事交流

平成21年度から昭和村と横浜市の人事交流を行っています。これまでに各6人の職員が派遣され、村や市の振興、お互いのより活発な交流に向けて、様々な取組を行っています。